

野島 X研修、LINE研修などさまざまです。実来店人数を増やすWeb

課題がありますか？
 齋藤 代理店に頼んだけど効果がなかったというケースが多いのが、認識の違いです。インプレッション数が30万回、40万回にすることは簡単なんです。それはお金を払えば出せる数字で、集客効果とは別物。それが半年も続くと、お金だけとられて意味がなかったとなってしまう。結果として何もやらないからさらにお客様が減っていく。それは業界にとっても、大きな損失だと思っています。



齋藤裕樹さん

時期だと思っています。

御社のWeb・SNS研修はどういった内容ですか？

野島 検索とは顧客の欲求を示します。例えば「モンキーターン」という検索ワードの総量が多ければ、その欲求に応えたいだけです。Googleで「モンキーターン」にどれぐらいポジティブな投稿があるのか、ネガティブな投稿があるのかなどは欲求の感情分析もできるようになりました。検索数が多くてもネガティブな欲求では意味がありません。当社の研修では「顧客欲求を科学しよう」と伝えています。まず大きな検索ボリューム数を捉えて、どの機種同士で相関関係があるの

広告研修という内容もあります。Googleでは来店計測ができるようになったので、きちんと目標を設定してそこを目指します。それぞれ企業のニーズに合わせてご提案することもありますが、1年間のパッケージ研修で順序だててやっていくケースもあります。



野島崇範さん

ホール側が代理店を選ぶ基準で提

かを探るといったことも、研修のタームごとにお話しています。

野島 コスト削減につながった事例は？
 LINEの通常配信が実質3万通までしか送れなくなったため、追加の費用を払っていたホール様にLINEの通常投稿とLINE広告で効果的に広告費を下げる方法をご提案したところ、大きなコスト削減効果がありオーナー様に喜ばれました(笑)。

齋藤 当社では月に1回、お取引先様を対象とした「パチンコメディア大学」という無料の勉強会をオンラインで開催しています。この勉強会はパチンコ業界全般のWeb広告に関する情報を共有する場として活用していただいています。

株式会社プラスアルファ
 東京都豊島区東池袋3-21-18
 TEL: 03-6914-2810
 URL: https://www.hpaa.co.jp/

野島 もうひとつ提案したいのがAIの活用です。例えば、パチンコ店のLINEは毎日30分程度の時間をかけて文章を考えて配信していることが多いです。これをChatGPTという生成AIサービスにやらせると5分程度で終わります。その分の時間でホールに出れますよね。まだ使用していないのであれば、ぜひお試しいただきたい。Web・SNS広告を代理店任せにするのではなく、ぜひ自社で運用できるようになっていただければと思っています。

野島 ざひ利用する代理店がGoogleパートナーの認定を取得しているかを確認してください。これはGoogle広告で年間100万円以上の運用実績が3年以上あり、継続的に運用ができて示す制度です。ターゲティングや運用方法がGoogle側から見ても問題ないとみなされると付与されます。その資格を何人が保有しているかも認定の条件になります。パートナー認定を取得していない広告代理店はGoogle広告の運用に問題がある可能性が高いため注意が必要ですよ。



人材サービスと研修サービスを支えるプラスアルファのスタッフのみなさん

Web・SNS広告を自社運用へ導く

顧客欲求を科学して効果の最大化を

パチンコ業界専門の転職サイト『パチンコ転職ナビ』を運営するプラスアルファ。多くのホール企業と接する中で、売り場プロモーション研修などの研修事業でも実績を積み上げてきた。その同社がいま注力しているのがWeb・SNS研修だ。ホール側の視点に立ち、最小のコストで広告効果を最大化する考え方を、野島崇範さんと齋藤裕樹さんに聞いた。

Web・SNSの運用に関する研修をサービスとして提供し始めた背景を聞かせてください。

野島 当社が運用している『パチンコ転職ナビ』では、求職者にサイトを見ていただくことがとても重要です。そのため、Web広告の効果の最大化は創業以来ずっと研究し続けてきました。その運用ノウハウに自信があったので、これを研修サービスとして2021年に商品化しました。

齋藤 「パチンコ転職ナビ」で募集サイトを構築していく中で、はじめはWeb広告を広告代理店に依頼していましたが、でも気がつくともっともおかしい。そこで少し勉強してみると、代理店にいろいろ扱われていたことがわかってきました。それと同様のことが、当社とお取引があるホール様で起こっているのです。そこで当社の研修を通してWeb広告の知識を広げていただき、まずは広告代理店と対等にやり取りができるようになっていただくことを目指しました。さらに自社運用ができるようになれば、コストも抑えられるし、必要に応じて機敏に広告ができるようになります。

野島 2023年5月にXでホールの広告が解禁され、LINEも同年10月に解禁されたことで、ホール様の意識も変わってきています。いまはまさにWeb・SNS広告に新たに取り組み